

事故を防ぐには  
組織的管理が必要

金銭や個人情報などを狙ったサイバー攻撃は、技術的に巧妙化するだけでなく、人間の心理を巧みに突いてくるなど、より高度化・多様化している。事業者は、情報セキュリティ事故を未然に防ぐ

ために日々最新の情報を入手し、技術的な対策や社内における人的・組織的管理を講じる必要がある。そして、

強化を考えている事業者はぜひ活用してほしい。

教育コンテンツをIPAが提供

セミナー「情報セキュリティ講習能力養成セミナー」

中小企業の教育担当

対策意識向上へ従業員教育を

独立行政法人情報処理推進機構（IPA）では、事業者の情報セキュリティ教育の実施を支援するために、さまざまな教育コンテンツを提供している。情報セキュリティ教育を行っていない事業者はもとより、教育コンテンツの見直し

者や情報セキュリティ担当者を対象に、効果的な講習会の組み合わせや、講習用コンテンツの入手方法と解説のポイントなどを説明する。今年度は2021年11月～22年3月の期間、オンライン形式で開催する。受講料は無料。

無料。IPAのWebサイトで受講申し込みを受け付けている。

映像教材「映像で知ること」を活用し、中小企業に対して情報セキュリティ読本

情報セキュリティの普及啓発を行う人材」向けの活動の基本を分かりやすく説明した教則本。技術的な事柄の細部にはあまりこだわらず、気軽に読んでいくうちに情報セキュリティの全体像が把握できるよう工夫してある。定価660円（税込み）、書店で購入可能。

なお、情報セキュリティ教育を計画・実施する際のポイントは本連載Vol.27で解説した。同内容はWebサイト「日商Assist Biz」に掲載しているのをご活用してほしい。

各教材へのリンクはこちらを参照

教育の計画・実施のポイント（日商Assist Biz）

1.教育計画の立て方(3)  
5W1Hを決める

5W1H	例
Who: だれに	対象者 全従業員、管理職、一般職、アルバイト、新入社員、中途社員、外注事業者...
When: いつ	実施時期 年度初め、四半期毎、朝礼時、入社時、ルール変更時、システム導入時、事故発生後...
Where: どこで	会場 会議室、執務室、貸会議室、OJT、外部研修会社...
What: なにを	テーマ 社内ルール、標的型攻撃対策、ビジネスメール詐欺対策、パスワードの強化...
Why: なぜ	理由 社内ルールの周知徹底、不審なメールが増えた、クラウドサービスを導入した...
How: どのように	教育方法 集合教育、eラーニング、オンライン研修、関連規程配布、外部研修、公開セミナー...

情報処理推進機構  
IPA  
Info Prof Age